

## 研究業績

### 著書（共著）

1. カフカと小川国夫—比較変身論  
「カフカと現代日本文学」（同学社 1985年） p.221-245
2. カフカと花田清輝  
「カフカと現代日本文学」（同学社1985年） p.248-272
3. 言語危機論—序説  
「モダニズム研究」（思潮社1993年） p.214-235
4. カフカとリルケ —沈黙の詩学—  
「カフカと二十世紀ドイツ文学」（同学社1999年） p.2-41
5. カフカとブロート —プラハ・サークルの原細胞—  
「カフカと二十世紀ドイツ文学」（同学社1999年） p.89-171
6. カフカとヴェルフェル  
「カフカと二十世紀ドイツ文学」（同学社1999年） p.131-171

### 研究論文

1. Ein Versuch <Das Urteil> Kafkas (I)  
山口大学教養部紀要第八巻 1974年 p.211-234
2. フランツ・カフカの「変身」について  
山口大学教養部紀要第九巻 1975年 p.143-154
3. 喩の「成層性」について —カフカの「ブルームフェルト」  
山口大学教養部紀要第十一巻 1977年 p.109-122
4. Ein Versuch uber <Das Urteil> Kafkas (II)  
山口大学教養部紀要第十二巻 1978年 p.71-83
5. 自虐の機制 (I) カフカの「流刑地にて」(I)  
山口大学「独仏文学」第1号 1979年 p.89-108
6. 自虐の機制 (II) カフカの「流刑地にて」  
山口大学「文学会志」第二十九巻 1978年 p.1-16
7. 生と死の逆倒と芸術の場 (I) —カフカの中期・後期の掌編—  
山口大学教養部紀要第十三巻 1979年 p.73-87
8. 生と死の逆倒と芸術の場 (II) —カフカの「田舎医者」の自己救済—  
山口大学教養部紀要第十四巻 1980年 p.57-72

9. カフカ：＜アメリカ＞試論－ロマン論への総序－（Ⅰ）  
山口大学「独仏文学」第2号 1980年 p.51-70
10. カフカ：＜アメリカ＞試論－ロマン論への総序－（Ⅱ）  
山口大学「文学会志」第三十一巻 1980年 p.43-59
11. カフカ：＜アメリカ＞試論－ロマン論への総序－（Ⅲ）  
山口大学「独仏文学」第3号 1981年 p.39-49
12. キルケゴールとカフカ  
山口大学教養部紀要第十六巻 1982年 p.165-179
13. リルケとスラブ世界（Ⅰ－1）第一部 リルケとボヘミア 第一章 総説  
（上）  
山口大学「文学会志」第三十八巻 1987年 p.101-120
14. リルケとスラブ世界（Ⅱ－1）第一部 リルケとボヘミア 第二章 リル  
ケのプラハ像（上）  
山口大学教養部紀要第二一卷 1987年 p.209-226
15. リルケとカフカ 序説－リルケとカフカは出会ったか？－（Ⅰ）（前編）  
山口大学「独仏文学」第9号 1987年 p.31-51
16. リルケとカフカ 序説－リルケとカフカは出会ったか？－（Ⅱ）（中編）  
山口大学「独仏文学」第10号 1988年 p.63-85
17. リルケとスラブ世界（Ⅱ－2）第一部 リルケとボヘミア 第二章 リル  
ケのプラハ像（中）  
山口大学教養部紀要第二十二巻 1988年 p.169-184
18. リルケとスラブ世界（Ⅰ－2）第一部 リルケとボヘミア 第一章 総説  
（中）  
山口大学「文学会志」第三十九巻 1988年 p.73-90
19. プラハ・ドイツ語論争（Ⅰ）  
山口大学「文学会志」第四十巻 1989年 p.77-95
20. プラハ・ドイツ語論争（Ⅱ）  
山口大学教養部紀要第二十三巻 1989年 p.179-193
21. リルケとカフカ 序説－リルケとカフカは出会ったか？（Ⅲ）（後編－1）  
山口大学「独仏文学」第11号 1989年 p.17-35
22. Rilke und Bergson 西日本ドイツ文学第一号 1989年 p.89-99
23. リルケにおける＜球＞と＜円環＞  
山口大学「独仏文学」第12号 1990年 p.57-74

24. リルケーその不可視の前衛性 現代詩手帳 1991年4月号 p.32-38
25. エクリチュールの舞台（Ⅰ）ーリルケ、ベーム、ハイデッガーー  
山口大学「独仏文学」第13号 1991年 p.19-37
26. エクリチュールの舞台（Ⅱ）ーデリダ・カフカ・ラカンー  
山口大学「文学会志」第四十三巻 1992年 p.103-116
27. エクリチュールの舞台（Ⅲ）ーニーチェ・ハイデッガー・ラカンー  
山口大学教養部紀要第二十六巻 1992年 p.217-227
28. カフカとリルケ ーセイレーンの歌を廻ってー（Ⅰ）カフカ：セイレーン  
たちの沈黙  
山口大学「文学会志」第四十五巻 1994年 p.49-64
29. カフカとリルケ ーセイレーンの歌を廻ってー（Ⅱ）カフカ：セイレーン  
たちの沈黙  
山口大学教養部紀要第二十八巻 1994年 p.275-288
30. カフカとリルケ ーセイレーンの歌を廻ってー（Ⅳー1）リルケ「セイレーン  
達の島」  
山口大学「独仏文学」第17号 1995年 p.59-76
31. カフカとリルケ ーセイレーンの歌を廻ってー（Ⅳー2）リルケ「セイレーン  
達の島」  
山口大学「文学会志」第四十七巻 1996年 p.89-104
32. Rilke und Kafka ー Zur Poetik des Schweigens am Beispiel der Sirenen-  
Dichtung  
山口大学「独仏文学」第18号 1996年 p.67-83
33. カフカとブロート（Ⅰ）  
山口大学「工学部研究報告」第四十八巻 第一号 1997年  
p.139-144
34. カフカとブロート（Ⅱ）  
山口大学「独仏文学」第十九号 1997年 p.53-69
35. カフカの『判決』における仮面の交換（Ⅰ）  
山口大学「独仏文学」第二五号 2003年 p.113-136
36. カフカの『判決』における仮面の交換（Ⅱ）  
山口大学「独仏文学」第二六号 2004年 p.71-96
37. カフカの『火夫』ーモチーフと構造  
山口大学「独仏文学」第二六号 2004年 p.97-127

38. カフカにおけるカイン像  
山口大学「独仏文学」第二七号 2005年 p.45-55
39. Die Stimme, das <Diktat> und die Interpretation.  
山口大学「文学会志」第五十六卷 2006年 p.121-136
40. リルケとカフカ —リルケの『始原の音』とカフカの『ヨゼフィーネ』—  
山口大学「独仏文学」第二八号 2006年 p.109-122
41. カフカとシュレーバー —カフカの『巢穴』とシュレーバーの『回想録』—  
山口大学「独仏文学」第二九号 2007年 p.1-15